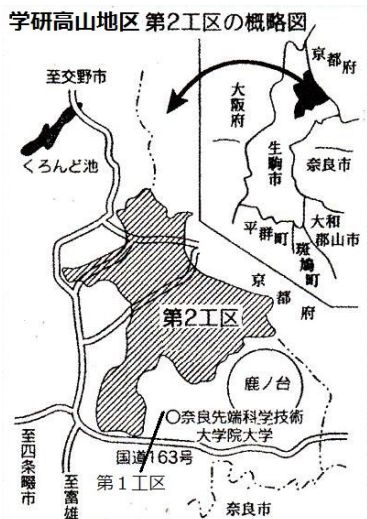


私たちのマイサポ登録事業へのご支援、ご参加をお願いいたします！

学研高山第2工区のあり方を考える生駒市民の会（略称：市民の会）



【1】学研（関西学術研究都市）高山地区第2工区を略して**第2工区**といいます。第2工区の場合は左の地図の通りです。奈良先端科学技術大学院大学がある地区を学研高山第1工区といい、第2工区はその北側にあります。第2工区の面積は約**288ha**で、**生駒市の面積の約5%**もあります。この**生駒市北部に広がる里山**である**第2工区がどうなるかは生駒の未来を大きく左右**します。

【2】右上の写真は、第2工区の景観です。第2工区のあり方としては、このような**里山の保全活用を主体とする**という選択肢があります。



一方、右下の写真は、開発の

イメージ写真です。このように、**莫大な予算を投入して山を削り谷を埋め緑をなくして更地を造成**し、自動車専用道路・学術施設・産業施設等の**工作物を設置**して**税金や雇用の増大を図ると**いう**開発を主体とする**との選択肢もあります。



しかし、<里山の持つ力>を見たとき、里山を壊した上で自治体に**財政破綻とそれによる行政サービスの低下と増税のリスク**を負わせる後者でなく、前者の選択が生駒の未来を切り開いていく道と考えます。

<里山の持つ力>

里山は、**生物多様性戦略**推進機能（注）、**食の安全保障**機能（農林産物産出）、**環境保全**機能（CO₂の吸収・固定化による地球温暖化防止／大気浄化／保水／気温調整等）、**遊び保養学び育ち**（レクリエーション、癒し、健康増進、里山学校、里山幼保園等）の場の提供など、大きくは**地球環境を保全して人類の生存を保障**し、身近では**私たちが生きる社会の持続可能性をもたらす**力をもっています。

（注）生物多様性戦略：多様な生物とのつながりの中で生かされている人類の生存持続のため、多様な生物を減少・絶滅させないこと。

【3】そこで私たちは、**第2工区のあり方を市民の皆様と一緒に考え決めていこう**という活動をしています。

（1）これまで、次のような活動をしてきました。

<1>**マイサポ登録事業**としての活動・・・以下が実施済みのもの

①第1回「里山のあり方を考える体験会」<国営“あいな里山公園”（神戸市北区）>

②第1回「“奈良高山里山＝第2工区”のあり方を考えるつどい」

③藻谷浩介氏講演会「生駒と、その里山の未来！」

④第2回「里山のあり方を考える体験会」<木津北（鹿背かせ山）地区（木津川市）>

<2>各地の**里山保全活用事業調査**（遊休地・耕作放棄地の活用事業現地調査を含む）



（2）（1）を踏まえて、**第2回「“奈良高山里山＝第2工区”のあり方を考えるつどい**」を、マイサポ登録事業として、次の要領にて開催いたします。多くの方々のご参加をお待ちいたしております。

日時： 2月11日（日／祝） 13：30～15：30

場所： コミュニティーセンター 401号室（セイセイビル4F）

内容： 第2工区における「**社会問題解決型＝里山保全活用型**」**ビジネスの展開**のご提案・ご検討

その他： 参加費 無料 / 申し込み 不要

<裏面に、里山保全活用事業の事例・里山保全活用型ビジネスの参考事例を載せております。>

問い合わせ先： 市民の会（事務局） 吉波伸治 〒630-0121 生駒市北大和3-2-7 ☎0743-84-4355

里山保全活用事業の事例・里山保全活用型ビジネスの参考事例

<里山ガーデン (第33回全国都市緑化よこはまフェア/17.3-6) >



生物多様性ゾーン

横浜の原風景の一つである「谷戸」の景観を保全するゾーン。



谷戸のカキツバタ園

谷戸田の形状を再現したカキツバタ・ハナシヨウ園。水辺には観賞デッキを設置。



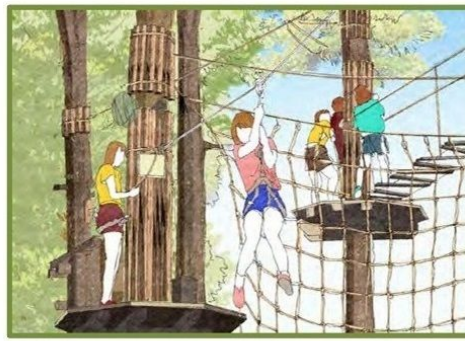
花の里山

サクラやヤマブキ、レンギョウなど春の花木が織りなす花の名所。



花の小道

森の中を散策しながら花と緑を楽しむ小道。



フォレストアスレチック

樹木間にワイヤーを張り、木々の間を移動するアスレチック、幅広い年齢層に楽しめる難易度別コースを設置。



横浜の花で彩る大花壇

市内最大級1ヘクタールの大花壇。横浜市産のピオラをはじめ、チューリップ、ワイルドフラワー等で演出。様々な角度からのダイナミックな景観を提供。

<国営“あいな里山公園” >



初夏、田植えが終わった棚田



梅雨のころ、やまももが実を結ぶ



夏、キキョウが咲く



棚田の稲は夏に成長



棚田は実りの秋を迎える



秋が深まると紅葉